授業科目　社会福祉行財政論Ⅱ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	社会
塩見義彦	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】

社会福祉行財政論Ⅰの継続である。

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯ>】

社会福祉行財政論Ⅰの継続である。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	老人保健・老人保健制度の経緯・現状と課題		講義中心　以下同様
2	介護保険・制度の趣旨と経緯・概要		
3	生活福祉資金貸付制度等・消費生活協同組合		
4	災害救助・災害弔慰金等について		
5	社会福祉の民間活動について		
6	社会福祉施設の推移と動向		
7	援護事業の沿革と現状・課題		
8	社会福祉基礎構造改革の背景と経過		
9	地方社会福祉審議会について		
10	社会福祉法人について(1)		
11	社会福祉法人について(2)		
12	社会福祉法人について(3)		
13	福祉サービスの適切な利用		
14	地域福祉の推進		
	なお、授業の進捗状況等により変更することがある。		

【使用図書】	<書名>　<著者名>　<発行所>　<発行年・価格・その他>
教科書（必ず購入する書籍）	社会福祉行財政論Ⅰと同様である。
参考書	適宜紹介する。
その他の資料	適宜配布する。

【評価方法】	【履修上の留意点】
社会福祉行財政論Ⅰと同様である。	前期と一対である。原則、前期受講者を対象とする。